

カーボンニュートラルの実現に向け、  
家庭でできる具体的な取り組みを一部紹介します。  
皆さんもできることから始めましょう。

# 東海市 地球温暖化対策 実行計画（区域施策編）

概要版



## 省エネルギーの推進

エアコンの温度調節や、家電を購入するときに省エネ機器を選ぶことなどにより、使用する電気やガスを減らすことで、二酸化炭素を削減することができます。

<p>LED照明をチョイス!</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約38kg 年間節約金額 約2,000円</p>	<p>省エネエアコンをチョイス!</p> <p>省エネ五つ星エアコン</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約89kg 年間節約金額 約4,700円</p>	<p>シャワーの時間を1日1分短縮!</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約33kg 年間節約金額 約3,300円</p>
--	--	--



## 環境に優しい移動の実践

電気自動車等の次世代自動車の導入、公共交通機関の利用等による環境に優しい移動を選択することで、二酸化炭素を削減することができます。

<p>エコカーをチョイス!</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約840kg 年間節約金額 約35,000円</p>	<p>公共交通機関をチョイス!</p> <p>自動車をかわずバスで1km移動した場合のCO<sub>2</sub>削減量 約79g 自動車をかわず電車で1km移動した場合のCO<sub>2</sub>削減量 約115g</p>	<p>エコドライブを実践</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約590kg 年間節約金額 約30,500円</p>
---	---	--



## 再生可能エネルギーの導入

太陽光や風力といった地球資源の一部など自然界で常に存在するエネルギーを活用することで、二酸化炭素を大幅に削減することができます。

<p>太陽光発電をチョイス!</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約760kg 年間節約金額 約40,310円</p>	<p>蓄電池をチョイス!</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約949kg 年間節約金額 約50,360円</p>	<p>HEMSをチョイス!</p> <p>年間CO<sub>2</sub>削減量 約246kg 年間節約金額 約13,030円</p>
--	--	---

出典：あいち COOL CHOICE 愛知県地球温暖化対策課

※年間CO<sub>2</sub>削減量、年間節約金額は、使用する製品や条件等により異なりますので、あくまで目安としてください。

家庭でできる取り組みは他にもあります。

詳しくは



東海市役所 環境経済部 生活環境課 ゼロカーボン戦略室  
愛知県東海市中央町一丁目1番地  
TEL:052-603-2211, 0562-33-1111  
✉ kankyou@city.tokai.lg.jp

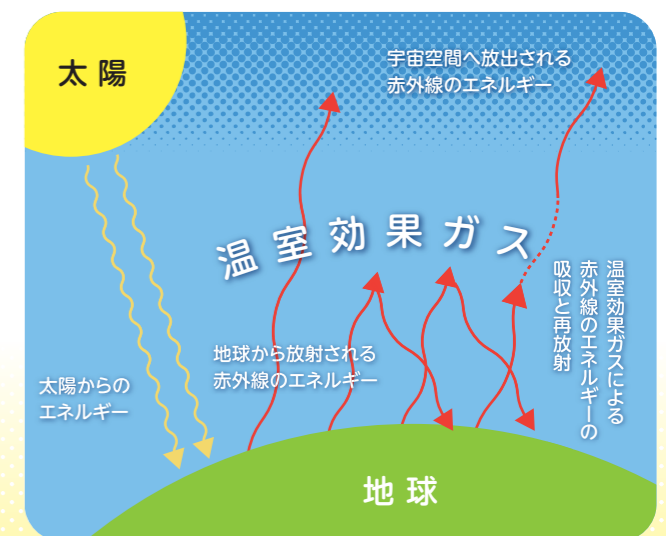


## 地球温暖化とは

大気中の温室効果ガスによって、地球の気温は保たれており、温められた地表から放出された熱の多くは宇宙に出ていきますが、温室効果ガスが増えすぎると熱が多く残り、地球全体の平均気温が上がってしまっている状態のことです。

## 温室効果ガスとは

二酸化炭素やメタンなどの温室効果をもたらすガスのことで、特に二酸化炭素は影響の大きいガスです。地球全体の気温を保つ効果があるため、適度に必要です。



出典：環境省

## 地球温暖化対策をしないとどうなるの？

地球温暖化対策を行わず、同じように活動を続けた場合には、地球の平均気温は21世紀末までに工業化前(1850年頃)と比較して1.0～5.7℃上昇すると予測されています。

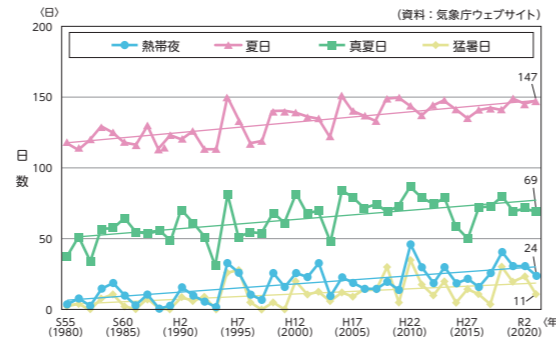
気温が上昇すると、海面の上昇や降水量の増加などの自然への影響や熱中症リスクの上昇などの社会・経済面への影響が想定されています。



## 東海市でも地球温暖化が進んでいるの？

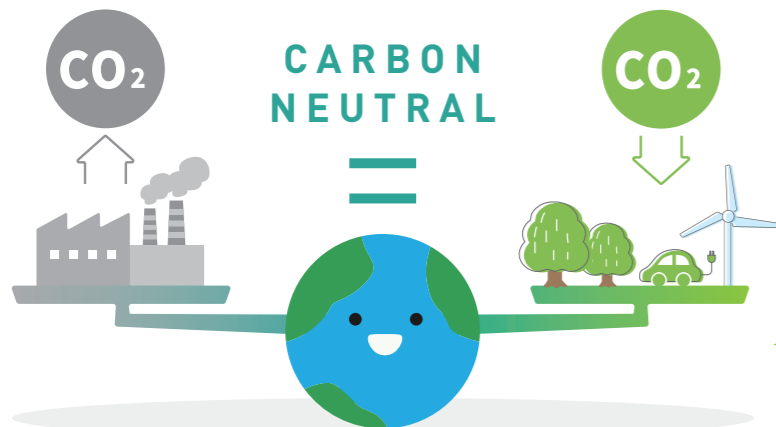
夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜のいずれも昭和55年(1980年)以降増加傾向にあります。

温室効果ガス排出量は、令和元年度(2019年度)で18,075千t-CO<sub>2</sub>あり、これは愛知県の排出量の約28%となります。また、温室効果ガスの種類別で見ると約99%を二酸化炭素が占めています。



東海市の熱帯夜、夏日、真夏日、猛暑日の日数の推移

地球温暖化を防ぐためには温室効果ガスを減らす必要があります。そのために、温室効果ガス排出量を実質ゼロとすること(カーボンニュートラル)が必要とされています。



### カーボンニュートラルとは

二酸化炭素などの温室効果ガス排出量をできるだけ減らし、減らしきれない温室効果ガスを吸収・除去して、プラスマイナス「ゼロ」とするという考え方です。

## 東海市の取り組み

市民、事業者、行政の各主体が連携協力した取り組みにより、令和12年度(2030年度)までに温室効果ガス排出量の50%削減を目指します

### 1 エネルギー使用を低減するビジネス・ライフスタイルの促進

- 省エネ技術の活用や効率的なエネルギー利用を通じて、エネルギー使用量を低減しながら快適な暮らしと事業の生産性の向上を目指して取り組みます
- 次世代自動車の普及や利用環境の改善、公共交通機関の利用促進等により交通に伴う環境負荷低減と利便性の高い移動環境づくりを目指して取り組みます
- 3R及び適正処理の推進により廃棄物の燃焼に伴う温室効果ガス排出量を削減するとともに、まちの美化を目指して取り組みます

### 2 再生可能エネルギー等の導入・活用の推進

- 市内への再生可能エネルギーの導入拡大や市外からの調達、効率のよいエネルギーへの転換など、エネルギーの脱炭素化と安定供給の実現を目指して取り組みます

### 3 緑の保全と創出

- 緑地の保全により吸収源対策を推進するほか、市街地における緑の拡大を通じてヒートアイランド対策を図るとともに、心地よい都市空間の形成を目指して取り組みます

### 4 ゼロカーボンシティを目指した行動ができる人づくり

- 地球温暖化に関する環境教育や環境学習を推進するほか、各主体が自主的に取り組むための支援やネットワークづくりを行い、一人ひとりが主役となって取り組む機運を高めます

計画書について  
詳しくはこちら

